キャラクター名
メリル・マクスフィア

プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン ハヌマーン	ワークス	大学生	カヴァー	大学生
オプショナル		年齢	22	性別	♀
覚醒	無知	衝動	自傷	初期侵食率	35 %
出自	疎まれた子	経験	大きな転機	邂逅	家族

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	2	0	0			2
感覚	2	0	1			3
精神	2	1	0			3
社会	2	0	0			2

HP	27
行動値	30
(非装備時)	30
戦闘移動	35
全力移動	70

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ			交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転：自動二輪	2		芸術：			知識：レネゲイド	2		情報：学問	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
コネ：UGN幹部	
コネ：情報屋	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
Dロイス：神速の担い手	P	N		
契約者：ラルバ・S・モンメルデッセ	P 純愛	N 怖い		
相棒：エリカ・アイシス	P 連帯感	N 嫉妬		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
サイレンの魔女	7	5	ﾒｼﾞｬｰ	視界	ｼｰﾝ(選択)	対決	-	
効果：攻撃力+LV*3　装甲無視　コンセ組み合わせ不可								
先手必勝	7	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果：行動値+LV*3　基本侵蝕率+4								
スピードフォース	1	4	ｲﾆｼｱﾁﾌﾞ	至近	自身	自動	ﾋﾟｭｱ	
効果：ｲﾆｼｱﾁﾌﾞにﾒｲﾝﾌﾟﾛｾｽを行なえる　ｼﾅﾘｵ1回								
終焉の残響	1	4	ﾒｼﾞｬｰ	-	-	対決	ﾘﾐｯﾄ	
効果：ﾘﾐｯﾄ：ｻｲﾚﾝの魔女　対象ﾘｱｸｼｮﾝ不可　ｶﾊﾞｰﾘﾝｸﾞに対してｶﾞｰﾄﾞ無視								
ライトスピード	1	5	ﾏｲﾅｰ	至近	自身	自動	100%	
効果：ﾒｲﾝﾌﾟﾛｾｽでﾒｼﾞｬｰｱｸｼｮﾝを2回行なえる　ｼﾅﾘｵ1回								
疾風迅雷	4	3	ﾒｼﾞｬｰ	-	-	対決	ﾋﾟｭｱ	
効果：対象ドッジ不可								
マシラのごとく	5	5	ﾒｼﾞｬｰ	-	単体	対決	80%	
効果：攻撃力+LV*10　判定ダイス-5								
スピードスター	1	5	ｾｯﾄｱｯﾌﾟ	至近	自身	自動	Dロイス	
効果：ラウンド間攻撃力+【行動値】　ｼﾅﾘｵ1回								
軽功	★							
効果：								
蝙蝠の耳	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

――性格設定――
天真爛漫、元気はつらつを書いてあらわしたような女の子。(簡単に言うとあほの子、子供っぽい)
いつも元気で何事にもまじめに取り組み、暗い表情を見たものは少ない。
普段の明るさの印象が強いが、ここ一番の緊張した場面では、誰よりも冷静に状況を判断したりもする。

――ＤＸ３内における設定――
ＵＧＮに影響力のある、モンメルデッセ家の当主、ラルバ・Ｓ・モンメルデッセの第一伴侶。
家をあまり空けることができない、ラルバ、エリカに代わり、世界中を飛び回っている。
その真意は、彼女の見た目、性格が子供にしか見えないことを逆手に取ったラルバの指示。
基本的にイリーガルの位置におり、ＵＧＮと協力関係も築いているが、自分たちが納得しないと依頼を受けることはない。
とある、実験により右腕に力を宿している。
始動キー(台詞)を口にし、レネゲイドを集中すると、右腕に見たこともないような幾何学模様が浮かび上がる。

――過去設定(日記)――
幼い頃に両親を実験の事故で亡くし、その後は親戚の家を転々としていました。
だけど、そんな生活も長く続くことはありませんでした。
わたしを引き取るとあることがいっぱい起こったんです。
わたしと関わった人たちが次々と死んでいってしまう。
わたしは、『死を招く者』と呼ばれ、親戚や周り人たちから見捨てられたました。
そんなある日、わたしを引き取りたいと申し出た男の人がいました。
その男の人は、ある学園の理事長をしていて、わたしの生活を保障すると言ってくれた。
親戚の人たちは厄介払いができると心底喜び、その提案を快諾して、私をその男の人に引き渡しました。